米国ネブラスカ大学メディカルセンター救急チームとの協働
救急＆パンデミックにおける性暴力・DV対応とトラウマインフォームド・ケア
2021年11月20日（土）9：00～12：00

# 性暴力被害者の急性期対応の現状 およびCOVID-19の影響

日本フォレンジックヒューマンケアセンター（NFHCC）
片岡　笑美子

## 性犯罪・性暴力被害者のための ワンストップ支援センター（OSC）とは

### 医療・司法・行政にまたがる急性期の総合支援システム

**ワンストップ支援**とは、性暴力被害に遭った人たちに被害直後から中長期、回復までの総合的な支援を可能な限り1ヶ所で提供する。被害によるダメージからのより早い回復につなげ、被害の潜在化を防ぐことを目的とする

**支援活動の基本**

1. 被害にあった人に寄り添い、本人の意思とペースを尊重する
2. 医療支援、心理的支援、法的支援、生活支援
3. 被害者への行政・民間の支援を有機的に結びつける役割を担う

**OSCの形態**　　病院拠点型　　相談型　　連携型

## 病院拠点型を推進する理由

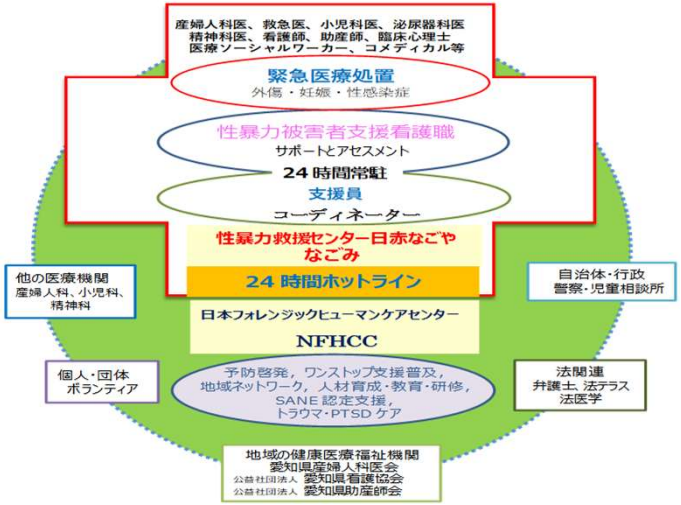
**性暴力被害者支援は救急医療・災害医療そのもの**
**早期からの危機介入が回復につながる**

**医療者側**
- **24時間対応可能**
- 性暴力にかかる総合的診断、総合的ケア
- 緊急医療処置（診察・緊急避妊薬・性感染症検査）
- 証拠採取－内診は医行為
- 性暴力被害者支援看護師（SANE）による身体的・心理的支援が有効（性教育）
- 性暴力被害者の早期発見（DV・性虐待含）
- 性暴力被害者の潜在化の防止

**被害者側**
- 身体のことを相談できる（傷害や性感染症、妊娠、中絶、出産等）
- 負担が少ない（一カ所で支援が受けられる）
- 病院には来やすい。相談しやすい



## 地域との連携による病院拠点の支援モデル



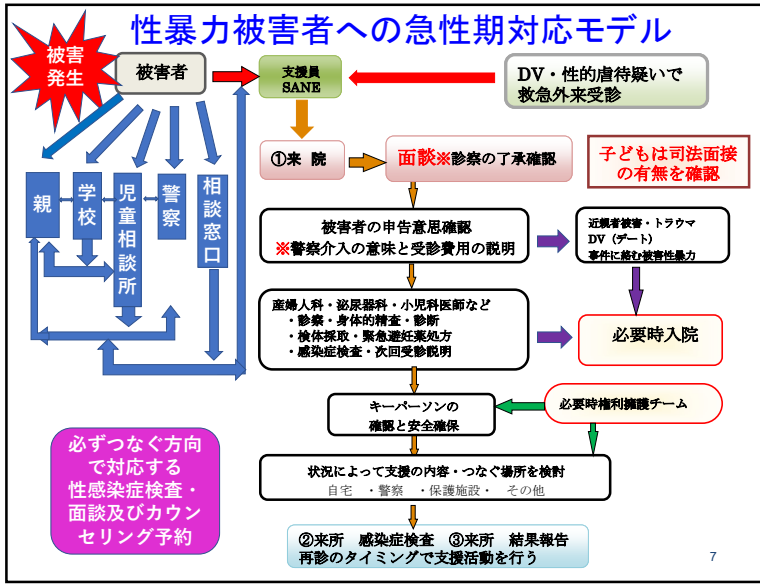
## 支援内容と担当者の役割

| 支援内容 | アドボケーター（支援員） | SANE（看護師） | 医師 | MSW | 精神看護専門看護師 |
|---|---|---|---|---|---|
| ２４時間ホットライン | ○ 8：30～20：30 | ○ 20：30～8：30 | | ○ 適時 | |
| 面談相談 | ○ 必要時 | ○ | ○ 適時 | ○ | ○ |
| 緊急医療処置 | | ○ | ○ | | |
| 心理的支援 | | ○ | ○ 必要時 | ○ | ○ |
| 法的支援 | | ○ | | ○ | |
| 生活支援 | | ○ | | ○ | |
| 同行支援 | ○ | | | ○ | |
| ケースカンファレンス | ○ | ○ | ○ 必要時 | ○ | ○ |

## 性犯罪・性暴力被害者の急性期とは

| | 被害直後～72時間以内 | 被害～3か月 | 3か月以上 |
|---|---|---|---|
| 身体的支援 | 診察（全身診察）<br>検体採取<br>緊急避妊薬<br>妊娠・中絶・出産 → | 性感染症検査・治療<br>性教育 → | |
| 心理的支援 | ASD<br>（急性ストレス障害）<br>PFA<br>（サイコロジカル・ファーストエイド） → | PTSD<br>（心的外傷ストレス障害）<br>診断<br>心理教育<br>トラウマケア<br>数か月、数年後でもフラッシュバック等PTSD症状が発覚したとき | 精神科医療機関紹介<br>治療 |
| 法的支援 | 警察<br>弁護士紹介<br>司法面接 → | | |
| 生活支援 | 児童相談所<br>配偶者暴力相談支援センター<br>シェルター | 民間の相談窓口 → | |
| 同行支援 | 警察・弁護士<br>行政機関 | 精神科医療機関 | |

## 性暴力被害者への急性期対応モデル






## なごみにおける5年3ヶ月間の総計

**（2016年1月5日～2021年3月31日）**

| | |
|---|---|
| 電話延べ件数 | 7336件 |
| 来所延べ件数 | 2108件 |
| 診察延べ件数 | 699件 |
| 新規受付実人数 | 1473名 |
| そのうち面談相談実人数 | 693名 |

# 2016年1月5日～2021年3月31日

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新規受付実数 | 19 | 13 | 19 | 15 | 16 | 18 | 13 | 13 | 13 | 6 | 12 | 16 | 173 |
| 上から2016年 | 7 | 11 | 15 | 7 | 14 | 13 | 25 | 16 | 19 | 24 | 19 | 14 | 184 |
| 2017年 | 17 | 23 | 24 | 13 | 15 | 27 | 15 | 21 | 26 | 28 | 29 | 18 | 256 |
| 2018年 | 28 | 32 | 23 | 26 | 33 | 24 | 23 | 27 | 37 | 45 | 28 | 34 | 360 |
| 2019年 | 29 | 47 | 37 | 20 | 25 | 38 | 36 | 32 | 24 | 45 | 33 | 47 | 413 |
| 2020年 | 31 | 23 | 33 | | | | | | | | | | 87 |
| うち来所実数 | 9 | 4 | 8 | 5 | 4 | 11 | 9 | 4 | 9 | 1 | 4 | 10 | 78 |
| 上から2016年 | 3 | 2 | 6 | 3 | 8 | 6 | 13 | 8 | 8 | 14 | 7 | 9 | 87 |
| 2017年 | 7 | 12 | 14 | 4 | 8 | 14 | 6 | 15 | 13 | 16 | 13 | 10 | 132 |
| 2018年 | 15 | 13 | 9 | 15 | 19 | 15 | 15 | 21 | 13 | 17 | 12 | 13 | 177 |
| 2019年 | 15 | 15 | 11 | 6 | 9 | 19 | 16 | 12 | 18 | 20 | 12 | 25 | 178 |
| 2020年 | 19 | 9 | 13 | | | | | | | | | | 41 |

コロナの影響

| | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 受付後の来所者 | 78人 | 87人 | 132人 | 177人 | 121人 | 41人 |
| 来所率 | 45.1% | 47.3% | 51.6% | 49.2% | 43.1% | 47.1% |

## COVID-19 拡大時におけるなごみ来所相談手順

病院の感染対策マニュアルに準じて作成

**緊急（72時間以内の被害、もしくは子どもの被害）を要する状況か否か？**

YES

電話の段階で来所者・同行者の状況確認する
①新型コロナウイルス感染症の方との接触の有無
②過去2週間以内に3蜜（＊）の場所への外出の有無
＊換気の悪い場所・人が密に集まる場所・不特定多数と接触する場所
③同上期間に流行地域（東京・大阪など）への訪問の有無
④発熱（37度以上）倦怠感・咽頭痛・咳嗽（せき込み）の有無
⑤息苦しさ（呼吸困難）の有無
⑥臭覚・味覚障害　の有無
⑦同居されている方が①～⑥の状況の有無
①～⑦に該当がないかを確認する

NO 左記状況確認

マスク着用と保険証の持参を説明

時間を決めて、来所していただく
上記項目に該当あればサージカルマスク対応

翌日以降の日勤帯で来所日時決定

来所時

感染対応に迷った場合
感染対策師長へ相談

検温となごみ面談前の確認シートチェック

無 → 面談・診察

有 → 陽性患者疑いとして対応

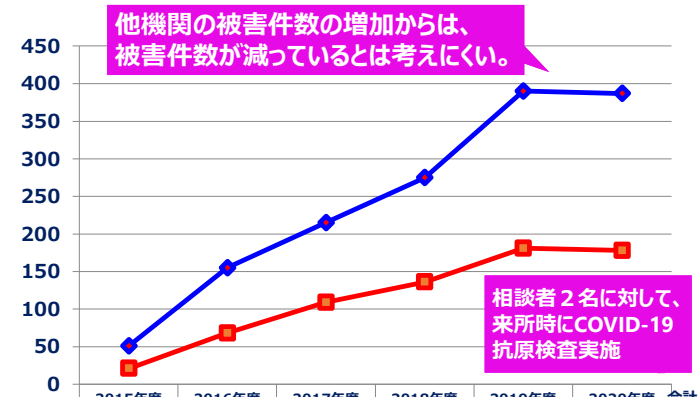
## なごみ面談前の確認シート

**来所時**　氏名・同行者氏名(続柄）・同行者の所属機関・記入日時
検温を各自で記入する

①新型コロナウイルス感染症の方との接触　有・無
②過去2週間以内に3蜜（＊）の場所への外出　有・無
＊換気の悪い場所・人が密に集まる場所・不特定多数と接触する場所
③同上期間に流行地域（東京・大阪など）への訪問　有・無
④倦怠感・咽頭痛・咳嗽（せき込み）などの感冒症状　有・無
⑤息苦しさ（呼吸困難）　有・無
⑥臭覚・味覚障害　有・無
⑦同居されている方が①～⑥の状況

発熱時・有にチェックがついたときは医師確認、必要に応じて
発熱外来、抗原検査実施

## 新規受付者数の年度推移




| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新規相談受付者 | 51 | 155 | 215 | 275 | 390 | 387 | 1473 |
| うち来所相談者 | 21 | 68 | 109 | 136 | 181 | 178 | 693 |

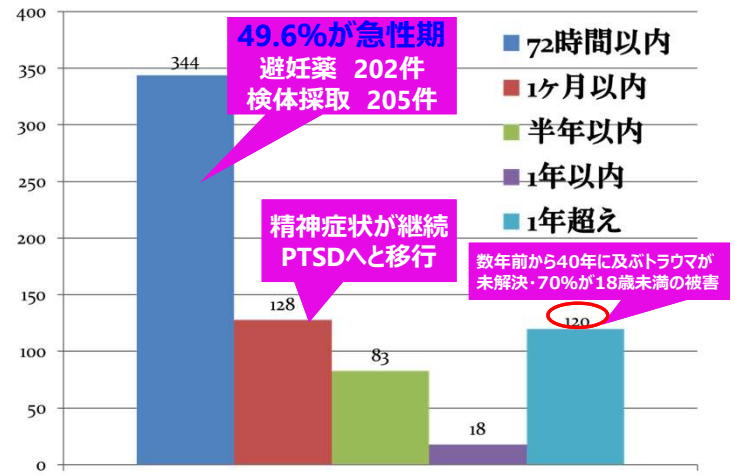
2016年1月5日～2021年3月31日実績

## 診察内容ごとの年度推移

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 検体採取 | 4 | 14 | 34 | 52 | 52 | 49 | 205 |
| 避妊薬処方 | 6 | 14 | 32 | 48 | 44 | 58 | 202 |
| 性感染症検査 | 2 | 10 | 24 | 37 | 30 | 32 | 135 |

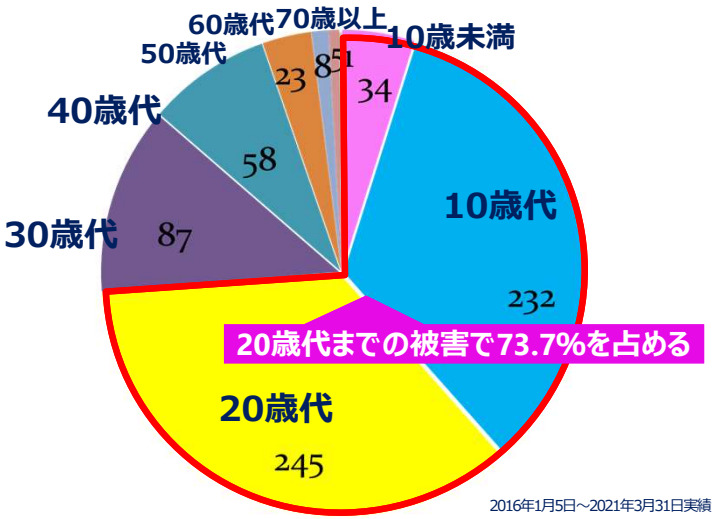
2016年1月5日～2021年3月31日実績

## 新規来所者の発生からの経過時間693名



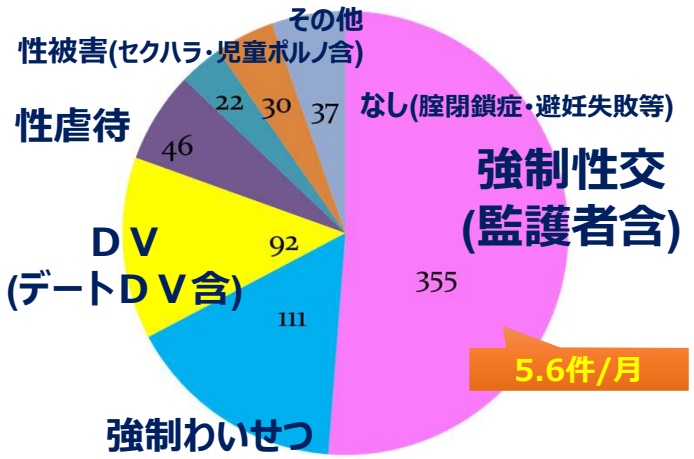

2016年1月5日～2021年3月31日実績

## 新規来所者の年齢　693名（うち18歳未満190名）




2016年1月5日～2021年3月31日実績

## 新規来所者の被害状況　693名




2016年1月5日～2021年3月31日実績

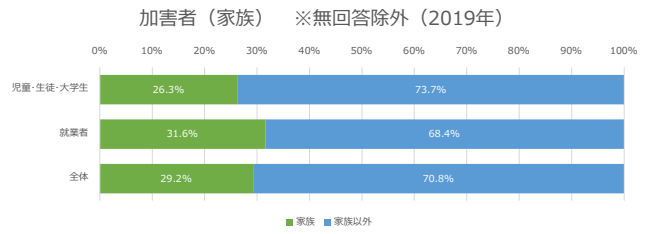
# データから見える
# なごみ来所者のCOVID-19の影響

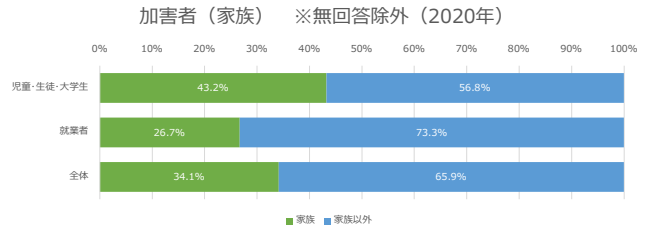
## ー児童・生徒・大学生と就業者の比較ー

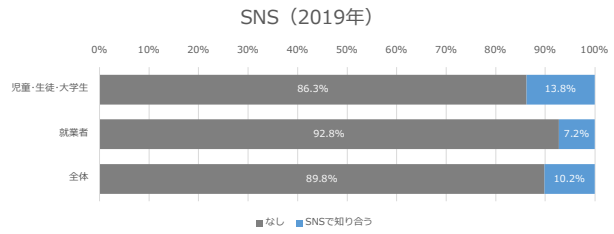
対象時期　2019年1月～2020年12月

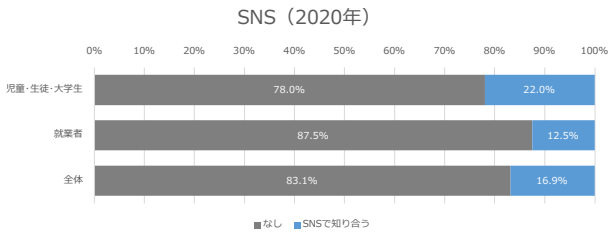
対象者数　2019年1月～12月　177名
2020年1月～12月　178名

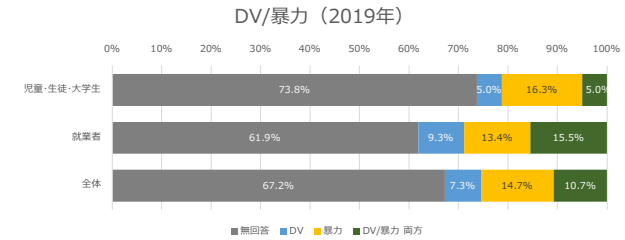
対象者　児童・生徒・大学生
就業者（現在無職含む）

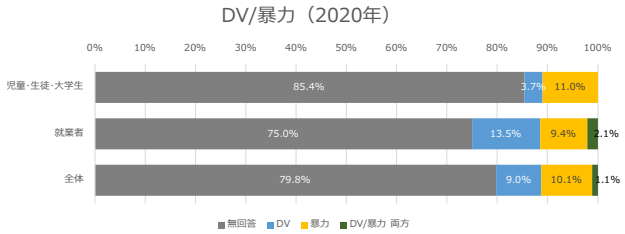


## COVID-19による影響　　NO.1

**支援体制**

・非常事態宣言で外出制限により相談、来所が減少

・新型コロナウイルス感染症に対する不安が強く、医療機関への受診抑制
　面談予約のキャンセルが相次いだ

・新型コロナウイルス感染症対策に基づき、なごみ来所相談手順を作成
　したことで、相談者が安心して来所することにつながった

・支援員も早期にワクチン接種を行い、安心して活動が継続できた

・支援体制を整備したことで、クラスター発生もなく、24時間365日継続

## COVID-19による影響　　NO.2

**2019年と比較した性暴力被害状況の影響**

・児童・生徒・大学生への家族からの性暴力が19.9％増加し、
　全体でも4.9％増えている

・SNSによる被害は、児童・生徒・大学生で8.2％、就業者5.3％、
　全体で6.7％増えている。

・DV、暴力は2019年よりそれぞれ減少している。相談窓口の相談
　件数は増加している中で、外部とのつながりが難しく、一人で
　抱え、来所できない状況や経済的困窮者が増え、来所をためら
　っている現状が伺える